

## ☆☆☆小野わかば幼稚園☆☆☆

### まのまちわかばたんけんたいの素敵な冒険

◎「おのまちわかばたんけんたい」とは？

このたび、小野わかば幼稚園のお友達と一緒に小野町の素晴らしさや自然の豊かさを発見するために、探検隊を結成することになりました。その名も『おのまちわかばたんけんたい』です。月に1回、バスに乗って小野町を探検します。全身で小野町の素晴らしさを体感し、豊かな心を育みます。今回は第1回と2回の様子を報告します。  
報告者：郡山女子大学短期大学部幼児教育学科 柴田 卓

◎第1回 6月21日 天気：くもり 場所：緑とのふれあいの森公園

9時50分、おのまちわかばたんけんたいが、緑とのふれあいの森公園にやってきました。緊張気味な子どもいれば、気持ちが高ぶっている子もいました。はじめに「探検隊の心得」を確認。その1「自分のことは自分でやるべし」、その2「自分のからだは自分で守るべし！」です。

第1回は「スズメバチ」「マムシ」「ヤマカガシ」「ウルシ」の4種類の危険な生き物などを確認。次に「鳥の声」「クモの巣」など9種類を探す「たんけんビンゴ」です。今回のメイン活動で、軍手を着けて「たんけんビンゴスタート」の合図と同時に勢いよく山へ駆け登る子どもたち。全身と五感をフル活用して探しました。大変なのは丸をつける係の先生たち。あっちで呼ばれ、こっちで呼ばれ。そうこうしている間に2つ、3つと丸が増えていきます。

次にカエルを探していた子どもが池の周辺に集まってきました。「ポチャ」一人、また一人と靴とズボンが濡れていきます。また「カエルに食べられちゃうところだった」と言った子もいました。なんて素敵な表現でしょう。まさに「子どもの世界」です。森は子どもたちの豊かな感性が思う存分に発揮される場所ですね。



◎第2回 7月12日 天気：晴れ 場所：夏井川河川敷

第2回は、夏井川の河川敷へ行きました。はじめに、ゆり組さんが考えた「探検隊の心得」その3を発表。「おもいきりたのむべし」という素敵な心得に決定。その後、前後半に分かれ、陸での生き物探索とライフジャケットを着てのプチ沢登りに分かれました。生き物探索組は、人工物を発見する遊びの後、自由に探索スタート。はじめは恐る恐る生き物に触っていましたが、慣れてきたころにはカタツムリ、カエル、トンボ、ナナフシ、チョウチョとたくさんの生き物に遭遇しました。プチ沢登り組は、100メートルほど上流に向かって歩き、はじめての川と流れに必死な様子。目的地に到着すると、大冒険を終え、自信に満ちた表情に変わり、たくましく成長しているように見えました。

